

福島第三小学校の現状と今後の戦略 《SWOT分析》

本県小学校教育のトップリーダーを目指して

R2. 4. 1現在

【強化戦略】

～アクション10～

「人・時間・空間」に開かれた学校

- ① 教育研究の一層の充実と県内外への積極的な発信
- ② 「ふくしま学力調査」の結果を踏まえた更なる学力向上の取組
- ③ 教育研究の蓄積を生かし自己肯定感を育むキャリア教育の推進
- ④ 「オーダーメイドの教育」を提供する特別支援教育の推進
- ⑤ 情報活用能力の育成と教育効果を高めるためのICTの積極的な活用
- ⑥ 自ら本に手を伸ばす子を増やす仕組みづくり
- ⑦ 「運動身体づくりプログラム」の更なる活用
- ⑧ 健康課題の解決と食育の推進を図るための学校・家庭の更なる連携
- ⑨ 学校・家庭が連携した情報モラル教育の推進
- ⑩ 子どもを支える家庭・地域のシステム作りと学校における働き方改革の推進

プラス要因

マイナス要因

【強み】Strength

- 全国及び県平均を上回っている学力
- 学校が好きで、きまりを守る子どもたち
- 不登校児童がいない学校
- 家庭等における学習習慣が身に付いている
- 研究熱心で情熱をもった教職員
- 20年以上継続している自主研究公開
- 生活科・総合的な学習の時間・道徳・特別活動の伝統
- 子どもたちの感性を育む音楽教育の伝統
- 「和食」を重視したおいしい自校給食
- 専門性の高い特別支援教育担当の教員
- 特設運動クラブ・音楽クラブの活躍

S

【弱み】Weakness

- ◆ 全国学力調査の結果がやや下降傾向
- ◆ 自己肯定感や挑戦しようとする態度に課題
- ◆ ICTを活用した教育を推進する必要がある
- ◆ 読書の習慣が必ずしも身に付いていない状況
- ◆ 体力・運動能力調査の結果が全国平均を下回っている現状
- ◆ 肥満傾向児やむし歯のある子どもが多い
- ◆ 長時間勤務が常態化している本校の教職員
- ◆ 教員の献身に支えられている特設クラブ

W

【機会】Opportunity

- 校外学習の引率補助など協力的な保護者
- 読書ボランティア等の積極的な活動支援
- 本県独自の「授業スタンダード」及び「家庭学習スタンダード」
- 本県独自の少人数学級編制
- 「ふくしま学力調査」による個の伸びの把握
- 本県独自の「運動身体づくりプログラム」
- 地区のリーダーとしての活躍の場を与えられている教職員

O

T

【恐れ】Threat

- ◆ 悪化する福島県民の健康指標
- ◆ 激減する児童数
- ◆ 必ずしも満足できる状況にない食習慣
- ◆ SNSやネットの利用に関する現状と懸念
- ◆ 大量退職・大量採用の時期を迎えている福島県
- ◆ 教員採用試験の倍率の低下

【推進戦略】 現在の取組を継続し効果を上げる

内部環境

外部環境